

学会開催報告

第6回日本英詩協会総会及び講演・研究発表会 (2006.10.13)

Report on the 6th General Meeting of the Poetry Society of Japan

吉村侑久代

Ikuyo Yoshimura

経営学科

ikuyo.yoshimura@nifty.com

第6回日本英詩協会2006年度総会及び研究発表会が、2006年10月13日（金曜日）、午後1時より5時30分まで、朝日大学10周年記念館中2階会議室で開催された。参加者は学会会長・大日向幻（関西学院大学）、事務局長・大池満（園田学園大学）、会計・吉村侑久代（朝日大学）をはじめその他会員20人と学生10名、一般参加者5名であった。会員は主に大学の外国語学部、英米文学部に所属する教員で、北海道、東京、栃木、神戸、大阪、広島から参加した。

大会テーマである「アジアから発信する詩心」のもと三部構成で行われ、一部に基調講演と英詩朗読、二部に研究発表と英詩朗読、三部に英詩朗読、小休止のあと本部会計報告と次年度開催地の決定などが討議され、充実した内容で終えることができた。総会、講演、研究会の発表は英語のみで行われた。

学会報告

Part 1

基調講演

水崎野里子（日本大学）による「アジア系アメリカ人の詩—日本現代詩人との相異—」
アメリカ、サンフランシスコ在住の日系三世、ジャニス・ミリキタニの社会活動、特に日英バイリンガルの雑誌、*AYUMI*の紹介が行われた。特にジャニスは牧師の夫とともに教会の演劇、ダンス、執筆、音楽などの芸術運営に手腕を発揮し、その目覚しい活動の一端として彼女の詩、*Breaking Silence*と*Testimony for Redness*が紹介された。*Breaking Silence*は、第二次世界大戦中の日系アメリカ人に対するアメリカ政府の対応や、*WASP*を中心としたアメリカ社会の中の日系人の立場を日系収容所でのジャニスの母親（日系二世）をモデルにして描かれた詩である。韻文による表現は悲哀のイメージを増幅させ、フロアに衝撃を与えた。さらに*Testimony for Redness*は戦時中の日系人収容がアメリカ政府の失策であるこ

とを公表させた日系人の立場を表現した詩で、大いなる勇気は市井の民から生れることを示した。今日、日本では在米・カナダの日系の若手の詩人への関心が高く、日系詩人の動向に対する質疑応答が出た。英詩の世界でも比較文学・比較文化の範疇で作品を読みこんでいかねばならないと、フロア一同痛感した。

英詩朗読（発表者と作品）

結城 文：Autumn delivered in a Murmur

吉村侑久代：Jasmine

戸部好郎：Cat

Part 2

研究発表

木村淳子（武蔵女子短期大学）

「Louise Glückと彼女の庭に関するイメージ」

ピュリッツァ賞、アメリカ詩人賞、William Carlos Williams賞など詩の賞を総なめにしてアメリカを代表する現代詩人のLouise Glückの詩

が、木村淳子氏によって丁寧に解説された。詩人の生い立ちと詩の関連、詩 Yellow Dahlia と Lamium の二篇の詩における I の意味、そして最後に Louise Gluck と彼女の庭に関するイメージの解釈が木村氏によってなされた。

英詩朗読

大池 満 : Evening, Petals, Wish, A Walk

Scott Watson : from A BREATH APART

丸山照子 : HAIKU

伏見親子 : Man has made a living, A petal falls, Locked and watched

Theresa Kannenberg : Senseless stolen lives, Our guardian angel, forever

Part 3

英詩朗読

小川聖子 : 5 Short Poems

水崎野里子 : Curriculum vitae, ode to the sunflower, TANKA

英詩の朗読の後は、英詩の日本語訳、日本語詩の外国語訳に関する問題点の質疑応答や、大学教育の中で英詩をいかに導入するかなどが討議された。その後、2007年度の学会開催校について討議され、東洋大学(2007年10月20日)に決定して、2006年度総会・講演・研究発表は終了した。

当学会開催に際しまして経営学会より補助を頂き、感謝申し上げます。経営学会のご支援、ありがとうございました。

別紙

THE POETRY SOCIETY OF JAPAN

The 6th General Meeting 2006

Date : October 14(Saturday), 2006 from 1:00 to 5:30 pm.

Place : Asahi University, the 10th Anniversary Hall(Mezzanine)

Address : 1851 Hozumi, Mizuho-City,
Gifu prefecture 501-0296 Japan

Tel : 058-329-1088

PROGRAM

Part1(1:00~2:00)

A. Welcome Words by Gen Ohinata(The president of PSJ)

B. Lecture : "On My Translation of Asian American Poetry and the Japanese Reception : with the View on Contemporary Japanese Poetry" by Noriko Mizusaki

C. Poems reciting by members of the Society

Aya Yuki, Ikuyo Yoshimura, Yoshiro Tobe

Tea break(2:00~2:30)

Part 2 (2:30~3:40)

A. Presentation : "Louise Gluck and her garden" by Junko Kimura

B. Poetry reciting by members of the Society

Mitsuru Ohike, Scott Watson, Teruko Maruyama, Shinko Fushimi, Theresa Kannenberg

Part3(3:40~4:10)

A. Poetry Reciting by members of the Society

Kiyoko Ogawa, Noriko Mizusaki

B. General Meeting

C. Reports on Management of PSJ